

これまでご支援いただいた



## 島根大学の 各プロジェクト



プロジェクトの詳細及びその他のプロジェクトはこちらからご覧ください。



### 地域に出て学ぶ・ 学生による古民家改修 プロジェクトin美保関

総合理工学部建築デザイン学科の学生が主体となった「島根大学 地域デザインプロジェクト」により、島根県松江市美保関にある



古民家を対象とした古民家改修に取り組み、地域の輪づくりを目指しています。2020年3月の支援成立後の作業は、土間部分の改修、建具の改修、家具の作成を予定していましたが、コロナ禍の影響を受け、現場での作業が思うように進んでいませんでした。現在、徐々に作業を再開して完成を目指しています。

### こどもが痛みと闘う 「ちっくんの部屋」を暖かい 「がんばれる部屋」へ

処置室自体の怖いイメージをなくし、子どもができるだけ安心して頑張れるように、総合理工学部建築デザイン学科の学生の協力のもと、



医学部附属病院の小児科外来処置室等のデザインを変更し、5月29日に内装が完成しました。各壁面に動物たちを描き、子どもたちが生き物を探したり数えたりしている間に治療が終わるような空間に、医療スタッフの方々も笑顔になれる空間に、という想いが込められています。

### しまね発の 低アレルゲン化小麦栽培 ～しまね夢こむぎ®～

小麦アレルギー発症を防ぐ1つの方法として島根大学と京都大学との共同研究で開発した、小麦アレルギーの主要アレルゲンを含まない食用小麦「しまね夢こむぎ」。



島根県の耕作放棄地となった棚田を活用して栽培し、生産するプロジェクトです。支援を受けて「しまね夢こむぎ」専用の製粉プラントが完成し、1日約200kgの小麦が製粉可能になりました。冷却粉砕によりグルテンの品質を損なわずに、風味の良い全粒粉が特徴の小麦を製粉できるようになっています。

### ヤングケアラー同士が 交流できるコミュニティを つくりたい

大人が担うとされるような負担と責任を背負って家族の世話をしている18歳未満の子ども達(ヤングケアラー)を支援する目的で設立された「ヤングケアラーの応援団」。



法文学部の宮本恭子教授を中心に島根県内の専門職が集まり、必要な支援を学ぶために定期的な勉強会の開催を企画、運営しています。今後は、当事者・家族・関係者向けの個別相談窓口の開設や、普及啓発のために県内の出前講座などの活動を充実させていく予定です。



古民家改修プロジェクト(ライン照明の検討)

### クラウドファンディングとは？



「群衆(クラウド)」と「資金調達(ファンディング)」を組み合わせた造語で、インターネットを介して自分の活動や夢を発信することで、想いに共感した人や活動を応援したいと思った人から資金協力を得る仕組みです。

本学では、「島根大学支援基金」において、学生への奨学金や課外活動支援など大学全体に関わる使途に活用する基金を募集しているところですが、近年、寄附金の新たな形として「クラウドファンディング」を積極的に活用しています。

国立大学を取り巻く環境が大きく変わっていく中で、様々な時代の要請に応えながら教育や研究をより充実させていくためには、国からの交付金や資金に加えて、広く一般の方々からの支援が重要になってきています。そこで島根大学では、1つの有力な手段として、クラウドファンディングによる支援の募集を積極的に行っています。2018年11月に成立した第1号の「脳オルガノイドを作り神経発達障がい有病態を解明したい！」を皮切りに、現在までに10件のプロジェクトが支援成立しています。これらは学内の審査を経て、大学の研

究や教育、地域活性化に寄与できるプロジェクトとして認められたものです。それぞれのプロジェクトには、「プロジェクトのことを多くの人に知ってもらいたい」「既に接点のある方々とより深い関係性を築きたい」「支援者のニーズを汲みとってプロジェクトに反映したい」など様々な想いが込められています。今後も積極的なクラウドファンディングの活用により、本学の様々なプロジェクトに対してご支援をいただきながら財政基盤の強化を図るとともに、教育や研究が地域の方々への身近なものとなるように努力をまいります。

想いに共感する支援者からの協力を得て、共に未来を創造する  
島大発のアイデアが実現に向けて進行中